



Department of Oriental Medicine
Saitama Medical University



第618回 日本良導絡自律神経学会
教育講演

「痛み・麻痺と自律神経症状に対する鍼通電療法
～臨床に必要な刺激部位・周波数とそのエビデンス～」
～鍼治療が脳循環に及ぼす影響～



埼玉医科大学医学部 客員教授
東京有明医療大学 客員教授
医学博士 山口 智

2024.10.27
東京医科大学病院

名称

- 低周波置鍼療法
- 鍼麻醉方式
- 電気鍼
- 低周波鍼通電療法
- 鍼通電療法

- 使用鍼

ステンレス鍼 原則は3番鍼以上
顔面部は臨床的には細い鍼を使用

- 通電時間 10分～20分

鍼麻酔による鎮痛効果は約10分で発現
30分以上は鎮痛効果が逆転する可能性

周波数

1. 低頻度として 1Hz~10Hz 筋の単縮
疼痛、麻痺、筋緊張
交感抑制・副交感緊張
(高血圧、消化器症状、泌尿器、婦人科)
2. 高頻度として 30Hz~100Hz 筋の強縮
片頭痛、片麻痺(痙縮)、顔面神経麻痺(後遺症)
交感緊張・副交感抑制(気管支喘息)

刺鍼部位

1. 筋肉
2. 末梢神經
3. 關節
4. 韌帶
5. 血管
6. 經穴(內科系愁訴・中枢性疼痛・慢性疼痛)
ex. 合谷→孔最(呼吸器)、合谷→內關(循環器)
 足三里→太衝(消化器)、築賓→太溪(泌尿器)
 陰陵泉→三陰交(婦人科)

周波数の違いによる研究報告

1. オピオイド

2Hz β エンドルフィン

2/15Hz エンケファリン

100Hz ダイノルフィン

2. 局所および全身反応(カラゲニン炎症性痛覚過敏モデル)

低頻度(3Hz) 刺激側および非刺激側にも影響

高頻度(100Hz) 刺激局所のみ反応

3. 自律神経(発汗波頻度)

低頻度(5Hz) 抑制(皮膚交感神経)

高頻度(100Hz) 亢進(皮膚交感神経)

筋肉

- 棘下筋・小円筋 天宗一肩貞・臑兪
- 棘上筋 曲垣・秉風一巨骨
- 広背筋 肩甲骨下角より三横指外方
一肩甲骨外縁

上腕二頭筋

結節間溝一烏口突起外下方

神経

- 肩甲上・下神経 雲門—大結節・三角筋
- 肩甲上神経 巨骨・秉風—臑会

靱帯

- 烏口上腕靱帯や烏口肩峰靱帯を症状に応じて刺鍼する。

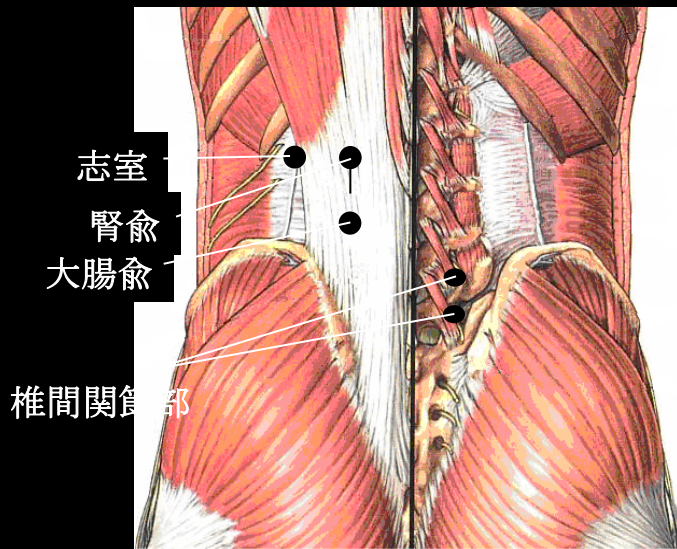
関節包

- 前方では鎖骨と上腕骨の間隙、外方では肩髁、後方では肩髁からそれぞれ刺鍼する。

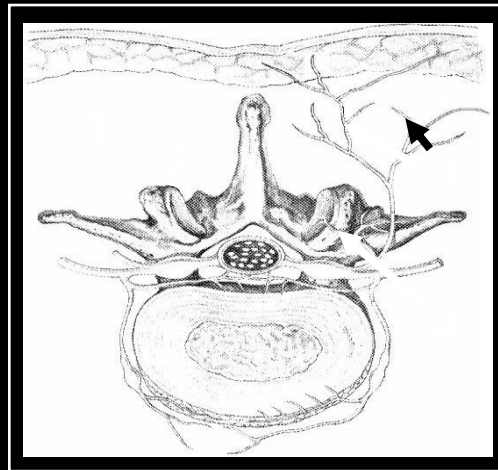
腰痛に対する鍼治療

1. 筋・筋膜 靱帯
2. 椎間関節 仙腸関節
3. 椎間板
4. 神経根・神経

主な鍼治療部位と方法



刺入部位



- ① 軟部組織（腰部脊柱起立筋など）
- ② 椎間関節部
- ③ 後枝外側枝
- ④ 後枝内側枝

刺激部位（深度）



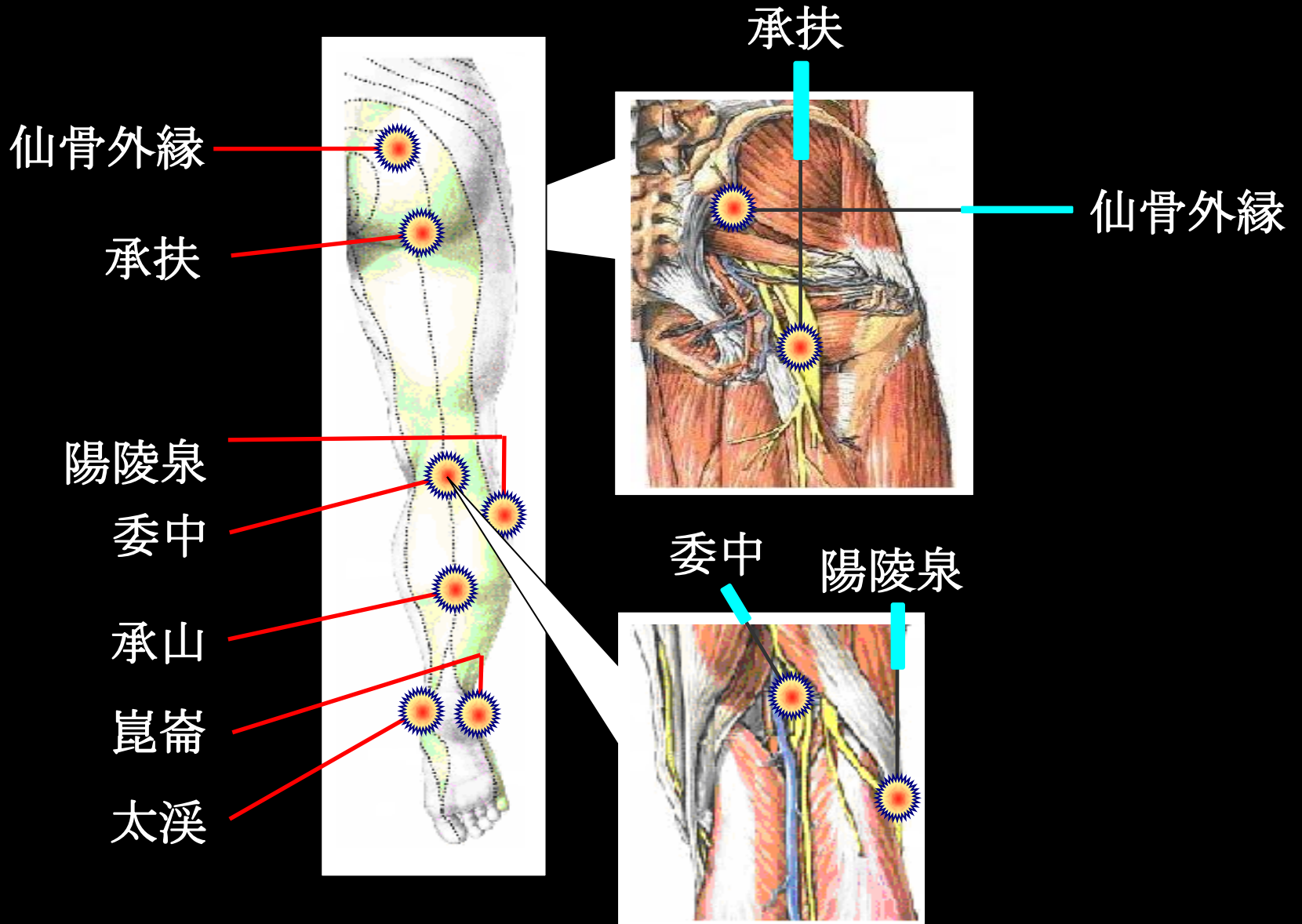
置鍼術



鍼通電療法

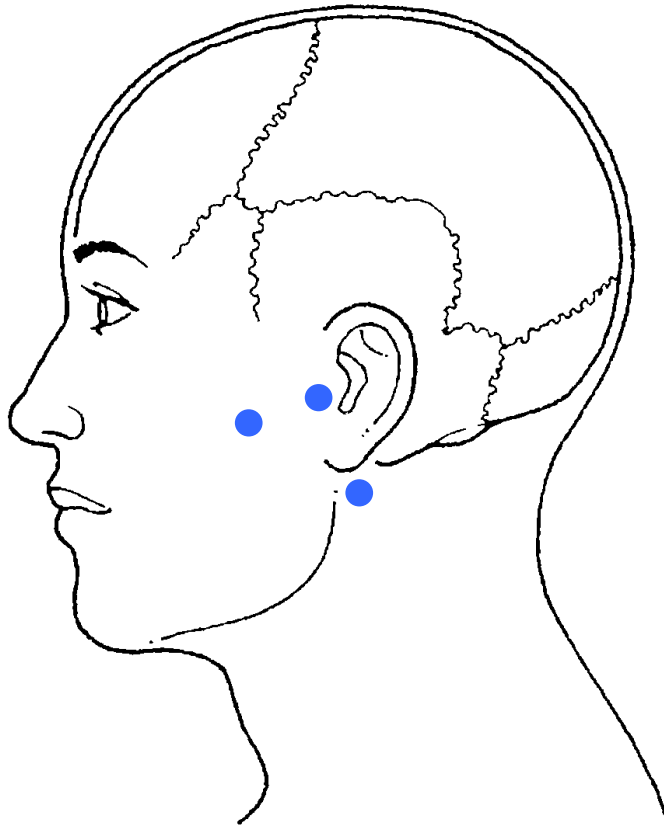
刺激方法

主な鍼治療部位(下肢)



治療方法

神経を目標とした治療



表情筋を対象とした治療

